

28PA-pm415

女子中高生の医療に関わる理系進路選択を支援する取り組みの総括
○岡田 みどり¹, 中村 裕子¹, 佐藤 梓¹, 齋藤 加代子¹ (東京女子医大)

【目的】東京女子医大では、JSTの支援を受け、女子中高生を対象に医療に関わる理系進路選択を支援する「未来のいのちと健康を支えるのはあなた」プログラムを5年間にわたり実施してきた。このプログラムは、医療系学部の多様性やそこで学ぶ楽しさ、医療系以外の理系学部も最先端医療の発展に寄与していること、などを中高生に知ってもらうことを目的としており、医学、看護学、薬学、栄養学、生命科学、工学といった多学部の協力を得て実施した。本プログラムの有用性について5年間の取り組みを総括する。【方法】平成24年～29年度に東京女子医大、東京薬科大学、早稲田大学、淑徳大学で行った「医療シミュレーションプログラム」「実験教室」「研究室見学」「理系女子との交流会」などの公開プログラム、出張講義に参加した生徒に対してポストアンケートを実施し、その結果から、参加者の進路選択、理数科目に対する興味関心、学習意欲に対して本プログラムが与えた影響について検証した。同時に、医療を支える仕事に対する生徒の意識、生徒を指導した teaching assistant (TA) が得た学びについてもまとめた。【結果】公開プログラムに参加した中高生は合計700名余であり、この取り組みに参加して理科や数学に対する学習意欲は高まったか、進路選択の参考になったかの間には、いずれも95%以上が positive な回答をしていた。一方、生徒を指導した TA の学生からは、生徒を指導することにより、「自ら学ぶ事に対する意欲が増した」「将来自分が指導的立場になることについて興味が深まった」などの積極的な感想を得た。また、多くの生徒は医療に関わる進路についての具体的な知識をあまり持っていないため、チーム医療や、先進医療を支える研究分野もあることなどを初めて知ることができたと答えており、本取り組みの有用性が明らかとなった。